

SNSを活用した取組事例の紹介

伊那市の中山間地域で農業を営む生産者の取組事例を関東農政局の「食ミラプロジェクト」Instagramで紹介。農業が直面する課題や取組について考える機会の提供を図った。

○ 施策分類

集落活性化、みどりの食料システム戦略、広報

○ きっかけ・背景、課題の把握

気候や地域の特性を活かし持続可能な中山間地農業に取り組む「LURAの会」代表宇野俊輔氏は、数々の課題を抱えるなか、令和7年5月笹川副大臣（当時）と意見交換をした際、「消費者に貴会の取組をどのように理解してもらい、広げていくかが重要」との助言を受け、当該会の今後の取組等について長野県拠点に対して相談を寄せた。相談を受けた当拠点は、農業の魅力・未来へ向けた取組みが消費者の理解促進へ繋がることを目指し、意欲ある農業者の取組等を優良事例としてSNS等で発信することとした。

○ 取組の内容

中山間地域で農業を営む「LURAの会」は、作付面積に応じた会費で農作物等を提供する仕組みにより、消費者（会員）が収穫量の変動リスクを請け負うことで持続的な農業を実現している。

拠点は宇野代表と会員へ複数回の取材を行い、11月中旬の大豆収穫風景を合わせた動画を制作し、関東農政局のSNS（[食ミラプロジェクトInstagram](#)）により発信をした。

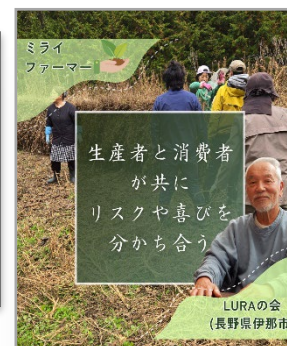
○ 効果・成果、今後の方向性

R7年12月24日投稿した動画のリーチ数は1082回（R8年1月6日現在）となっており、幅広い層へのPRが図られている。

今後も、意欲ある農業者・団体等の取組を取材しSNS等を活用した情報発信の継続により、農業の魅力を未来へ繋げていく。



LURAの会の仕組み
※LURAの会HPから引用



Instagramへの投稿

体制図

